

生徒指導だより 4月号

**明るく 正しく 元気よく**

内子町立内子小学校



## 言葉遣いについて考えてみよう!

新年度が始まったかと思えば、あっという間に1か月が過ぎようとしています。子供たちは、新しい学年・学級、学習にも少しずつ慣れてきて生き生きと過ごしています。逆に、慣れてきたことにより、日頃の言葉遣いが少し心配になっています。これを機会に、自身の言葉遣いについて振り返ってほしいと思います。

### 1. 「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」どちらを多く使っていますか?

- ふわふわ言葉：言われた人が、心が温かくなったり、元気がもらえたりする言葉  
(例：「ありがとう」「すごいね」「大丈夫？」など)。
- ちくちく言葉：言われた人が、悲しくなったり、心が痛くなったりする言葉  
(例：「足がおそい」「あっち行って」「へたくそ」など)。

### 2. 「丁寧な言葉」を多く使っていますか?

「むかつく・うざい・キモイ」などの乱暴な言葉、体型や容姿のことをからかうような言葉が、知らないうちにお互いの心を傷つけていることがあります。

乱暴な言葉を言い換えると…

- ・ 「うざい」 → 「今は一人になりたいな」「静かにしてほしいな」
- ・ 「むかつく」 → 「それは悲しいよ」「嫌な気持ちになったよ」

### 3. 時・場所・相手に応じた使い分けができていますか?

- ・ 友達、先生、地域の人など、相手によって言葉を選ぶ「礼儀」を大切にしましょう。
- ・ 休み時間と授業中での切り替えを意識しましょう。

＜保護者の皆様へ＞

ご家庭での言葉遣いが学校での生活態度に直結するため、以下のことにご協力ください。

- ☆ 子供は大人の話し方を驚くほどよく見ています。家族間での「ありがとう」を大切にしてください。
- ☆ 子供がイライラしているとき、「何が嫌だったのか」を落ち着いて言葉にする手助けをしてください。

**みんなで言語環境を整えていきましょう!!**